

平成23年3月11日
東日本大震災
(M9.0 震度6弱)

市立病院における 経過

対策本部 5階事務部総務課

時間	相手先等	内 容
3月11日（金）		
5:00	重油	残 ボイラー関係14,600ℓ・第1電気室系自家発電装置390ℓ・第2電気自家発電装置1,250ℓ
14:46		地 震 発 生
		地震が発生した時点からエレベーター点検へ（閉じ込め者なし）
15:00	トリアージポスト	正面玄関前に設置。
10	看護部長	4西・4南で物が落下して怪我人あり
15	気仙沼酸素商会	酸素設備に異常が無い旨報告を受ける。
	横山室長	自家発電作動しているとのこと。
23	危機管理課	被害状況について問い合わせあり
30	院内放送	エレベーター停止し、余震が続いているので使用を控える旨、放送
16:00	院長	負傷者が当院へ搬送されるので対応について、医師へ一斉放送の依頼あり
03	一階病棟	患者を避難させたとの報告あり
10	管財（佐藤）	2東・3東患者避難完了との報告あり
50	小山寝具	リネン（寝具）類を洗濯室より2階内科前ホールへ準備した旨報告あり
	避難所設置	避難されてきた被災者の方に職員会館を解放することとした。
17:10	トリアージポスト	ボイラー室前にトリアージ用テント設営
15	看護部長	今後の対応のため、増築棟4階会議室開放
47	院長	防災センター対策本部を5階医局に移動
23	朝日新聞社（仙台）	被害状況について、連絡を受ける。
55	横山室長	女川原発全面停止とのこと。
18:30	安海副院長	災害で負傷された方々が多数搬送されるので、一般の方々は気高体育館に異動されるよう依頼があり放送する。
19:00	自家発電装置	第1電気室自家発電装置（旧病棟及び外来関係）100時間稼動可能。第2電気室自家発電装置（管理棟及び増築棟関係）16時間稼動可能。
20:00	院内放送	館山浄水場からの水道停止により、院内においての節水の協力依頼の放送
02	看護部長	3階東病棟を除き、避難していた患者を病室に戻すとの連絡あり。
15	看護部長	明日の対応もあるので、帰れる職員を帰したいとのことから、院長より指示を受けそのように対応するよう回答
21:00		二部透析開始
	市水道課	給水車にて2,000ℓ 補給
35	気仙沼警察署	負傷者以外の方が病院へ避難していることから、指定の避難場所へ誘導していただくよう警察署に依頼
22:00	本吉病院（鈴木課長）	本吉病院より、1階が壊滅状態で、医療機器も食事を出せない状況なので、入院患者20人の受け入れを要請する必要があるかもしれない。
55	県医療整備課	被害状況について問い合わせあり。
23:15	大友科長	明日朝には相当数の死体が搬送されることが想定されるので、シーツ・ビニールシート等を用意してほしいとのことから、危機管理課へ連絡。災害本部でも、想定しているので、会議で協議し対応することであった。

時間	相手先等	内 容
3月12日（土）		
1：00	駐車場	停電のため、常時開放とすることとした。
05	看護部長	透析終了したとの報告あり。明日は、患者が来院した時点から開始する。開始時間は不明。
11	危機管理課	猪苗代病院入院中の患者50人を収容できないかとの問い合わせあり。現状では受け入れは困難である。
25	看護部長	病棟巡回中。患者さんは落ち着いた状態である。
48	県災害対策本部	状況確認のため連絡あり。当院では透析を行うためには、現状の自家発電装置では11時までしか持たないので、重油の供給をお願いしたいと連絡する。
2：23	県医療整備課	重油の供給について連絡あり。新潟から向かわせるとのこと。量は2,000ℓ 必要と連絡。
3：10	同上	患者給食300人分（パン・水・缶ジュース等）及び毛布200枚等要請
4：05	看護部長	当院かかりつけで薬を持たず避難した患者の対応のため、医師を薬剤科に配置し、処方すること。当院以外の患者はトリアージカードにて整理
5：00	重油	残ボイラー関係12,100ℓ・第1電気室系自家発電装置390ℓ・第2電気自家発電装置390ℓ
6：00	トリアージポスト	看護学校前に被災者（死亡者）トリアージ施設設営（自衛隊テント）
05	横田副院長	今後、ボランティアや避難される方も多数来ることが予測されるので、看護学校を開放してほしいとのことから、院長から了承を得、開放することとした。
45	避難所設置	上記のことから、院内に避難している一般の方は看護学校へ異動するよう院内放送
7：15	看護部長	只今から透析を始めた。時間は3時間位となる。
55	自衛隊到着	看護学校前及び救急室前にトリアージ用テント設営
8：08	危機管理課	自家発電燃料切れのため、只今から1時間位停電となりますとの連絡あり。
35	総務課	危機管理化へ看護学校を被災者へ開放し、現在78人が避難中と報告
36	東北大学	DMAT派遣要請必要かとの問い合わせあり。派遣を要請する。
9：20	気仙沼酸素商会	中央酸素（液化酸素）は一週間分の使用可能との報告あり
10：30	4階西病棟	病室にひび割れが発生したので、患者を別の部屋に移したいとのこと。
50	バイタルネット	透析に関する材料及び薬品は約一週間分が確保できるが、電気・水の確保が前提である。
12：06	市災害対策本部	被災者用シーツ80枚、ガーゼ1反等到着（看護学校へ）
14：16	アベキ	第2電気室系自家発電装置へ重油780ℓ 購入
30	看護部長	透析終了したとの報告あり。
17：20	丸和	第2電気室自家発電装置へ重油850ℓ 購入
20：42	県医療整備課	県医療整備課が手配した重油8,000ℓ 新潟（富士工業）から到着し、地下ボイラー関係へ充填する。
23：02	アベキ所有車	重油4,000ℓ タンクローリーから抜き取り
3月13日（日）		
5：00	重油	残 ボイラー関係18,900ℓ・第1電気室系自家発電装置390ℓ・第2電気自家発電装置1,250ℓ
6：30	災害救急ベンダー	ダイドードリンコ設置の自販機（災害緊急ベンダー）から飲料水を抜き取り入院患者、来院患者及び看護学校へ避難中の方に配布。
7：50	妊産婦対応	妊産婦の方のためリハビリテーション室の一部を専用室として解放
8：35	支援物資倉庫	支援物資の保管場所を2階放射線科7番とした。

時間	相手先等	内 容
9:10	丸和	第2電気室自家発電装置へ重油700ℓ 充填
13:30	院長他関係職員	地震に伴う、今後の対応について（打ち合わせ）、電力の見通しが状況から、外来診療ができないので、その間災害医療に限って医療を行うこととした。
15:00	気仙沼酸素商会	現在、2,100㎡の残となっているので、3日位（16日まで）は大丈夫である。また、気仙沼酸素には5日分くらいの在庫がある。
16:20	危機管理課	当分の間、外来診療を行わないことについて防災広報での周知やバスの運行等について依頼
	災害対策本部（広域）	同上及び透析患者の移送並びに薬品、食料等の供給体制について要請
	保健福祉事務所	
19:10	院内放送	外来診療ついて、電力の回復が見込めないことから当分の間休止する旨、院内放送を行なうとともに、外来受付機にもお知らせ版を貼り付けする。
3月14日（月）		
5:00	重油	残 ボイラー関係18,200ℓ・第1電気室系自家発電装置390ℓ・第2電気自家発電装置1,100ℓ
8:05	管財（川村）	水道事業所職員立会いの上、水位の減少に異常は無かった
15	患者移送	昨夜、県医師会から重油の供給について、全面協力をいただけるとのことから、透析を継続できるので、気仙沼保健所（所長）及び災害対策本部（市長）へ報告し、透析患者の移送を中止することとした。
45	気仙沼酸素商会	液体酸素1,700㎡残で、今後3日間程度の使用が可能である。なお、日本酸素大阪と連絡がつき、仙台経由で郡山充填所へ搬送を依頼。
12:30	県医療整備課	MCA無線による宮城県医師会災害時医療情報網へ一斉放送による情報提供を開始（18日まで）
13:15	市ガス水道部	受水槽点検し、濁りの無いことを確認する。
14:20	気仙沼保健福祉事務所	病院の現状と必要とする薬品、給食等についての要望
15:40	NHK仙台放送	市立病院の現状について取材を受ける。
55	気仙沼保健福祉事務所	現在までの状況と要望について、保健所長他1人来院。再度、患者給食に関し、不足する米、使い捨て容器の要望等を再度願う。
16:33	危機管理課	16時40分頃にNHK仙台放送からの取材を受けることを報告。
45	NHK仙台放送	気仙沼市立病院内、ライブ放送される。今後19時及び21時に再放送される予定とのこと。
19:05	県医療整備課	本日までの受け入れ患者の状況と不足するものはどのようなものなのかとの問い合わせあり。本日までの延受診患者数及び不足する入院患者に対する食事のための、米等の要望を伝えた。
42	NHK仙台放送	市立病院内、ライブ放送される。
21:00	災害対策本部（市）	毛布等の支給を受ける
22:00	NHK仙台放送	市立病院内、ライブ放送される。
	重油	第2電気室へ750ℓ 充填
3月15日（火）		
3:45	緊急打ち合わせ（医師・看護部・診療技術部及び事務部等関係者）	南気仙沼駅前での火災発生に伴い、市立病院への延焼が考えられることと、第1電気室（旧病棟・外来等関係）の自家発電装置が停止を繰り返しており、事故が懸念されることで、患者への対応を早急に決定しなければならないことから、緊急打ち合わせを行った。まず、レスピレータ等装着の患者を他病棟へ転出することと、今後のことも考慮し、他医療機関への移動搬送を行うこととした。
5:00	重油	残 ボイラー関係17,500ℓ・第1電気室系自家発電装置390ℓ・第2電気自家発電装置1,080ℓ

時間	相手先等	内 容
5:15	入院患者対応	上記打ち合わせを再開。レスピレータ(人工呼吸器)を装着している患者4人について、3北へ3人、4北へ1人を移動することとした。転出後、自家発電を停止することとした。また、DMATによる移送を各科において早急に検討し、他院へ移送することとした。
40	院内放送	自家発電の停止について院内放送を行う。
43	自家発電装置	停止。
8:00	ヘリ移送	DMATによる移送11人、自衛隊による移送13人、計24人
12:40	自衛隊	自衛隊より酸素ボンベ7,000ℓ 型6本、500ℓ 型4本受領
13:00	通電	通電復帰。ただし、エレベーターについては、点検後復旧することとした。その後、危機管理室へ連絡
18:40	エレベーター	全面復旧
	重油	第2電気室へ550ℓ 充填
3月16日(水)		
5:00	重油	残 ボイラー関係17,100ℓ・第1電気室系自家発電装置390ℓ・第2電気自家発電装置1,780ℓ
7:54	危機管理課	エレベーターも全面復旧し、病院としては電気関係はすべて復旧しましたとの報告を行う。
13:00	室根診療所	所長及び診療所・歯科診療所事務長支援のため来院。危機管理課へ報告するとともに、市長への報告をお願いした。
18:30	医局打ち合わせ会	玄関前でのトリアージは20日を以て終了し、以降、当直対応。明日8時30分から17時15分までは、総合受付でトリアージカードにより、救急外来で対応することとなった。また、19日から21日までは薬の処方是不行なことを決定した。このことについて、危機管理課へ報告し、避難所へも周知するようお願いした。
3月17日(木)		
6:30	気仙沼消防本部	玄関前トリアージ用テント撤去
7:30	陸上自衛隊	看護学校前トリアージ用(死亡者)テント撤去
11:20	県医療整備課	各燃料の残量、重油タンクの容量及び形式等について問い合わせあり
14:00	県医療整備課	MCA無線機を設置(医療整備課とのみ通信可能)
15:13	一関市長	県立磐井病院からの医師派遣及び各避難所回りの診療援助をいただくことから、院長から電話にて御礼。
16:30	磐井病院	DMATにより、1階病棟入院患者5人救急車にて移送
3月18日(金)		
7:10	危機管理課	水産庁から必要な医薬品があればリスト表にまとめてほしい。長期的な状況を考慮してほしい。早ければ1週間程度で船舶により運搬される。このことから、薬剤科長へ連絡し取りまとめ方依頼する。
7:30	一般電話	回復確認
10:45	院内イントラ	回復確認
13:55	自民党災害対策本部	病院でガソリンが不足しているということを小野寺事務所(衆議院議員)を通じてきた。直接送ろうと思ったが、自衛隊で緊急物資の搬出があるということでそれと一緒にガソリンを病院に届けます。市を通じてという話を伺いましたが、小野寺事務所の方から直接といわれたので電話をしました。その後、危機管理室へ連絡。
14:15	総務省重要無線局	トランシーバー 20台を送るが、搬入ルートを検討中である。日程が決まり次第連絡する。
27	県医療整備課	自民党の政策として参議院議員タカシナエミコ議員から医薬品に不足を生じているようなので気仙沼市立病院へ見積って送ってほしいとのことである。受け取る方はどなたか。(総務課村上) 近日中に届くので受け取ってほしい。
30	県災害対策本部	重油の残量等について問い合わせあり。

時間	相手先等	内 容
16:14	陸上自衛隊	重油搬入のための事前調査に来院す。
17:30	医局打ち合わせ会	19日から21日までは処方を行わない。宿日直体制で対応するが、混雑することが予想される。また、明日19人を東北大学にヘリ移送するとともに、透析患者79人が午後1時を目途にバスにより仙台に移送し、その次の日に北海道へ移動となる。その他千厩に20人位移動する予定。
	国立がんセンター(要請)	嘉山先生あて油(重油・ガソリン・灯油)が必要である旨、病院長名で要請する。
	重油	4,000ℓ購入
3月19日(土)		
8:40	東北大学	DMATにより、入院患者19人ヘリ移送開始
10:41	副看護部長(三浦)	上記患者移送完了との報告を受ける。
12:42	院長	東北大学より連絡があり、21日北大より派遣された医師が各避難所を回りますとのことですが、振り分けは成田先生と横山先生が行う。
14:10	看護部長	透析患者78人移送完了(12時30分頃開始)
15:20	厚生労働省医政局	本日までの患者受入数や医師等の人材、医薬品の状況及び重油の供給等について聴き取り
	埼玉県知事(要請)	3.21から31日までの間、看護師の派遣を依頼した。(院長名にてファックス)
16:00	au一関店	au携帯電話30台を調達のため一関市へ(21時20分帰院)
17:00	ファックス	5階事務室FAX、ISDN回線不通により仮設番号0226-24-8941設置
3月20日(日)		
11:30	市医師会	来院し、昨日、県医師会から支援物資を届けるとの連絡があった。また、避難所を各エリア別毎に分けて医療救護所を調査し、明日からDMATを常駐させる準備をさせていますとのことであった。
18:15	各部報告会	本日の報告について各部より報告を受ける
3月21日(月)		
	虎ノ門病院及び埼玉医科大学病院(要請)	診療材料関係の物資支援を要請
18:00	各部報告会	本日の報告について各部より報告を受ける
3月22日(火)		
7:00	トリアージ	トリアージタグを取り止め、7時から一部外来診療開始となる
9:00	外来診療	本日は、救急及薬の処方のみ、ただし、一部診療可能(小児科、外科(抗がん剤治療)、整形外科(リュウマチ)、産科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科及び歯科)とした。
30	駐車場	第2、第3駐車場及び第6駐車場清掃(泥除去)作業(市、太平ビルサービス)
	重油	4,000ℓ購入
18:00	各部報告会	本日の報告について各部より報告を受ける
3月23日(水)		
	外来診療	外来診療を拡大した。(呼吸器科、循環器科及び外科全面)
9:00	看護部長	透析患者8人DMATによりバスにて松戸市へ移送
30		気仙沼信用金庫への支払等予定債権者3.25日10件及び31日14件に対し、システム復旧後の支払いとしたい旨、文書を持参し説明を行う。
	県医療整備課(要請)	紙おむつ、乳製品及びディスポ食器等について支援要請(被災当初にも要請している)
	県疾病・感染対策室(要請)	衛生環境が悪化している光が丘保養園に対し、早急な行政レベルでの支援を文書にて要請
18:00	各部報告会	本日の報告について各部より報告を受ける

時間	相手先等	内 容
3月24日 (木)		
8 : 00	東北大学	DMATにより患者39人を自衛隊ヘリにて移送。10時30分移送完了。
9 : 40	水産課 (染川副参事)	日かつ連の薬剤支援の方法について水産課「日かつ連では薬剤を購入することができないので、薬剤相当金額を市立病院に寄付することにした。口座ナンバーを知らせてほしい。なお「サトウ」の方は、支払いが4月以降となることについて了解済みである。」市立病院「サトウには、既に薬剤リストを市立病院から送付済みである。」と報告する。
15 : 25	災害対策本部(市新田)	海員組合から軽油600ℓが病院に受入れられるとのこと、ポリタンクで30個を明日、病院に届けることとなる。到着は午後となる見込である。
16 : 00		院内テレビをK-NET受信からアンテナ受信に変更
30	聖マリアンナ医科大学 病院長 (要請)	気仙沼市出身の脳外科医師の派遣延長を依頼
18 : 00	各部報告会	本日の報告について各部より報告を受ける
3月25日 (金)		
10 : 15	ファックス	5階事務室FAX、ISDN回線復旧により元番号0226-22-3121に戻る
16 : 30	学校法人埼玉医科大学 理事長(要請)	救護所医療チームについて4月末まで派遣延長を要請
18 : 00	各部報告会	本日の報告について各部より報告を受ける
3月26日 (土)		
8 : 24	岩手県立中央病院	副院長(玉井先生)より、連絡があり医療スタッフは足りていますかとのことであったが、現在のところ各方面から応援を頂いており大丈夫であると回答。なお、改めて院長へ電話することとなった。
13 : 40	岡山県医師会	成田医師より県医師会を通して要請があった医師の派遣について、岡山県医師会では4月1日から4日まで、医師4～5人(内1人は女性)を派遣する予定でいる。市立病院への到着予定は3月31日の夜になると思われる。4月5日中に帰還することとしているとのことであった。
3月27日 (日)		
7 : 18	安海副院長・危機管理課	市へ軽自動車が10台入るようだ。市立病院へ1台入れてもらうように要請してくれ。これを受けて、危機管理課へ要請する。聞いたところによると、6ヶ月間無料借用する車両とのことであった。
8 : 07	危機管理課	10台の車両の配属は全て決定しているが、追加があるのでその際、病院へ配置されるよう手上げするとのことであった。
11 : 50	県商工経営課	県に要望をしたA重油の確認について連絡を受ける。
12 : 24	同上	連絡があり、国に要望する重油量について、地下タンク20キロℓ分が常にある。後日、確実に供給可能な時点で必要量を連絡することとした。(横山室長)
13 : 15	院長	市内視察(気小、鹿中、浦島小等)
3月28日 (月)		
	外来診療	外来診療を拡大した。(婦人科)
8 : 45	宮城テレビ報道部	テレビテロップ中初診の診療時間及び一般診療の応需体制に誤りがあり、修正をお願いする。
11 : 25	東北放送、仙台放送、NHK及び東日本放送	宮城テレビ同様に、他局においても、上記と同様に報道されているので、各報道へ連絡し、修正をお願いした。
18 : 00	各部報告会	本日の報告について各部より報告を受ける
	時間外対応	本日より課長等で輪番で対応することとした(順番次長→準備室長→総務課長→医事課長)

時間	相手先等	内 容
3月29日（火）		
10：30	厚生労働省医政局（加藤様TEL03-3595-2194）	現在の当院の診療状況及び入院患者数について問い合わせがあり、外来診療は、内科、脳神経外科及び整形外科（リュウマチを除く。）が診療不可、また入院患者は28日24時現在285人であるとの報告を行う。
11：40	市財政課	三菱ミニキャブバン（白ナンバーは名古屋480 せ86-43）借用する。なお、借用期間は半年間とのことです。
18：00	各部報告会	本日の報告について各部より報告を受ける。また、状況が落ち着いてきたことから、本日を以って報告会を一応終了とした。
3月30日（水）		
10：35	停電	市内全域で停電となり、エレベーター内を点検させる。また、その旨院内放送にて周知する。
55	エレベーター	全エレベーター点検し、閉じ込め者なしとの報告を受ける。
11：00	副看護部長（野口）	必要としない電気は消灯状態にするよう看護部へ依頼
13：25	横山室長	14時に通電させる旨報告を受け、関係者（院長、事務部長、放射線科、中央検査室及び電算室）へ連絡
30	院内放送	通電について、午後2時復旧する旨、放送を行う。
14：00	危機管理課	通電とともに、午後2時復旧した旨報告を行う。
3月31日（木）		
9：25	伊藤喜三郎建築研究所	今回の地震に伴う建築関係の調査のため、来院。
13：00	市議会	本庁3階議員控室にて今回の東日本大地震の報告会を開催。15時終了。総務部長より明日（4月1日）より、現在、市災害対策本部を防災センター内に設置しているが、ワン・テンビル内に異動するとの報告があった。
4月3日（日）		
8：55	危機管理課	毎朝届けられる支援物資（パン等）について、病院では患者食事が通常どおり提供できるようになったことと、院内食堂も営業を開始したことから、避難所へ廻していただくよう要請。
4月6日（水）		
9：34	県災対本部（國井）	成田医師から依頼のあった軽自動車とバイクを調達したので、納入先の住所及び担当者の名前を連絡下さいとのメールが届き、院長等と協議し、市として納入し、DMAT活動用とすることとした。
14：00	市財政課	上記の件について、連絡したが出席が不在とにことで改めて連絡をいただくこととした。その後、連絡があり市として受領する旨了解を得た。なお、県との窓口は病院とした。
4月7日（木）		
13：30	市ガス	復旧する。
15：00	同上	市ガスを使用している医師住宅を点検し異常が無い旨、確認する。（終了16時30分頃）
23：32		地 震 発 生（M7.1、震度5強） 地震が発生した時点からエレベータ点検へ（閉じ込めなし）
4月8日（金）		
0：14	トリアージポスト	正面玄関前に設置するとともに、市危機管理課へ現状を報告。 （24時現在入院310人、新生児3人（担送183人、護送68人、独歩58人））
15	厚生労働省	被害の状況、電気、水道等の状況等についてどのようなになっているか問い合わせあり。
23	総務係（及川）	1人目の患者来院との報告あり。
25	管財係（小山）	自家発電機及び酸素関係に異常がないとの報告を受ける。

時間	相手先等	内 容
0:30	トリアージポスト	来院患者が少ないため、トリアージを取りやめ、従前の救急取り扱いにて行うこととした。 (地震後来院患者数5人のうちトリアージ数3人(すべて入院となる)。また、入院中の死亡退院1人あり)
37	仙台医療センター	救急山田先生より連絡があり、トリアージに殺到することや施設の損壊などがあった場合は連絡がほしいとのこと。(TEL080-1848-4424)
53	本吉病院	特に被害はないとの報告を受け、その旨危機管理課へ報告。
56	横山室長	電力確認し、県全体が停電となっており、復旧の目処は分からないとの報告を受ける。
1:10	院内放送	電力の利用の抑制をお願いするため院内放送を行う。
35	危機管理課	トリアージを廃止し、一般の救急対応に切り替えした旨報告。
40	東京災害医療センター	被害状況等について問い合わせあり
41	看護部長	地震が要因と思われ、来院した患者は4人で全員入院(トリアージタグ対象3人)となったとの報告を受ける。
6:00	横山室長	電力より確認したが、停電復旧の目処は立たずとのこと。
40	緊急打合せ(院長、副院長、看護部長及び事務部)	本日の外来診療については、停電の復旧が見込めないので、救急のみの対応とすることとした。
48	危機管理課	本日は、外来診療を休診とし、救急対応のみとする旨、報告。
55	同上	防災行政無線及びコミュニティーFMによる市民への周知を依頼した。
7:00	医事課	院内放送にて外来診療休診を呼び掛けた。(7時現在入院315人、新生児3人(担送188人、護送68人、独歩58人))
28	防災行政無線	本日、外来診療休止について呼び掛けを行う。
35	水道事業所	水槽点検のため来院。水位に異常はなかった。
13:36	県医療整備課	昨日の地震における、現状について問い合わせあり。停電中であるので、県として早急に通電いただくよう要望してほしい旨お話しした。
15:58	透析センター看護師長	透析終了の連絡あり
16:38	院内放送(横山室長)	17時10分電気を復旧する旨、院内放送
17:10	電気	通電復帰。ただし、エレベータについては、点検後復旧することとした。その後、危機管理室へ連絡
45	管財係	通電後、点検し異常が無いことを確認する。
21:00	日立エレベータ	点検終了し、異常が無い旨、事務当直者へ報告をあり。
4月11日(月) 震災から1か月目		
14:20	院内放送	本日、震災から1か月を迎え、14時42分に市民広報無線による「黙祷」の呼びかけがある旨、放送を行う。
4月13日(水)		
	外来診療	外来診療を拡大した(脳神経外科及び内科・消化器科(かかりつけ患者の再来診察のみ))。
4月15日(金)		
13:32	県医療整備課	現在の診療体制について問い合わせあり。
4月18日(月)		
9:00	時間外対応	今後の震災対応について、院長と協議し、先週まで課長以上の職員4人の輪番制で24時間対応していたが、今週より土・日及び祝祭日の日直帯(8時30分から17時15分まで)のみの対応で行なうこととなった。この件について市危機管理課(千葉補佐)へ連絡。

時間	相手先等	内 容
4月23日（土）		
14：45	政府関係者	仙石副長官、辻本総理補佐官及び厚生労働省関係者視察のため来院し、市長及び院長等と懇談
4月28日（木）		
13：00	厚生労働省等	東北厚生局長他数名来院。院長、事務部長と災害の現状と今後の取り組みについて面談
5月11日（水）		
	外来診療	外来診療を拡大した（内科・消化器科について、紹介状のある新患の診療を開始）。
5月14日（土）		
	駐車場	津波により使用不能となった第2、3及び6駐車場システム撤去
5月19日（木）		
8：40	時間外対応	今後の震災対応について、院長と協議し、職員4人の輪番制により土、日及び祝祭日の8時30分から17時15分まで対応していたが、来週から行わないこととした。なお、前日部長より総務部長及び危機管理課へ報告済みである。
5月21日（土）		
	駐車場	本日より第2、3及び6駐車場システム設置工事施行する。
5月24日（火）		
0：00	駐車場	第2、3及び6駐車場システム通常稼動とした。
8：30	外来診療	内科も通常どおりの診療体制となった。
5月26日（木）		
16：20	透析患者	新千歳空港10時50分発、11時55分仙台空港着にて、札幌市内で治療していた70人が帰郷。その内68人が気仙沼に到着
5月31日（火）		
15：00	厚生労働省等	厚生労働省関係者3人来院し、病院の被災状況等（建物）について現場視察のため来院